

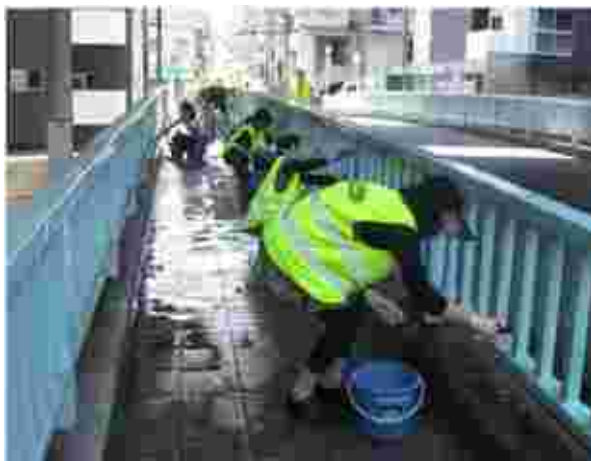
1. 橋洗い

平成 24 年 5 月 19 日（土）に、東横堀川に架かる『安堂寺橋』にて橋洗いが実施されました。参加者は約 20 名で、歩道部の橋面や欄干の清掃が行われました。また、橋洗い終了後にはミニ講座（東横堀川の生態について）も行われ、参加者は熱心に説明を聞いていました。

平成 24 年 9 月 15 日（土）には、堂島川に架かる『中之島ガーデンブリッジ』にて橋洗いが実施されました。参加者は約 250 名で、橋面や欄干の清掃が行われました。本橋での橋洗いは平成 17 年以降、今回で 8 回目となります。

平成 24 年 9 月 22 日（土）には、堂島川と土佐堀川に架かる『難波橋』にて橋洗いが実施されました。参加者は約 200 名で、橋面やライオンの像などの清掃が行われました。橋洗い終了後には、恒例の参加者全員による記念撮影が行われました。

今後も地域主体でいくつかの橋洗いが予定されています。



▲ 安堂寺橋の橋洗いの様子



▲ 中之島ガーデンブリッジの橋洗いの様子



▲ 難波橋の橋洗いの様子



▲ 参加者記念撮影（難波橋）

2. 橋梁の整備

【西大宮橋架替工事の完成】

旭区にある西大宮橋は、城北川に架かる橋梁で、本橋の架替工事は城北川の河川改修事業に伴い平成 21 年から開始し、平成 24 年 7 月に新橋の通行が可能となりました。

本橋付近には、公共施設（区役所や学校）が多く存在し歩行者も多く、橋の架替に併せて歩道の幅を広げ、安全で快適な歩行者空間の確保に努めました。



▲ 橋面



▲ 側面

【三荘新橋 側道橋架設工事の完成】

鶴見区にある三荘新橋は、下八箇荘水路に架かる橋梁で付近には茨田高校や市営住宅（茨田諸口東）があります。

以前は、東側のみ歩道（側道橋）が設置されていましたが、平成 23 年から西側の歩道（側道橋）設置工事を行い、平成 24 年 5 月より通行が可能となりました。



▲ 橋面



▲ 側面

【豊里大橋耐震対策工事の完了】

豊里大橋を含む国道 479 号は、災害時の物資や緊急車両の通行を確保するための「緊急交通路」に指定されている重要な路線であります。

豊里大橋においては、平成 18 年から橋の耐震対策を進め、平成 24 年 7 月に完了しました。本橋の耐震対策としては、落橋防止構造・免震装置の設置および橋脚補強を実施しました。



▲ 全景



▲ 免震装置

※落橋防止構造とは、桁が橋脚や橋台から落ちることを防ぐために、桁と桁、桁と橋脚・橋台を連結するものです。
※免震装置とは、地震の震動を軽減させるためのものです。
※橋脚補強とは、橋脚が倒れたり、壊れたりすることを防ぐために、橋脚の柱にコンクリートや鋼板を巻きわたるものです。

【梅ヶ辻橋工事】

梅ヶ辻橋は谷町筋の谷町 9 丁目アンダーパスに架かる橋梁で、1968 年（昭和 43 年）にアンダーパスの建設と同時に設置され、桁下から路面までの高さが 4.0m となっていました。

そのため、高さ 3.8m を超える車両については、側道部を通行するよう高さ規制を行っていましたが、アンダーパスの入り口に設けた防護桁へ車両が衝突する事故が発生していました。

現在、梅ヶ辻橋の改良（架替）を進めており、完成すれば高さ制限の改善が図れます。

工事は、すでに新橋の桁架設が完了しており、完成に向けて鋭意工事を進めています。



▲ 旧橋の梅ヶ辻橋



▲ 新橋架設後の状況

3. 国際会議での情報発信「IABMAS2012」での発表

7月8日(日)～12日(木)の5日間、イタリア北部のストレーザ市において「IABMAS2012」が開催されました。そこに50カ国もの国々からの参加があり、世界での震災状況や橋梁の維持管理技術などの紹介がありました。本市からも既存の老朽橋がもつ性能の評価方法について発表しました。



▲ 会場の様子

※「IABMAS2012」

「IABMAS2012」は、橋にまつわる様々な議題についての講演発表・討論を行うことで学術的・技術的知見を深めるとともに、橋に関わる世界各国の学者・技術者間の交流の場を提供することを目的として開催されている国際会議です。第1回は、1992年にスペイン・バルセロナで開催され、その後は2年おきに開催されており、今回は6回目です。

4. おおさか『街』あるき

平成24年8月8日(水)に、よみうり文化センターが主催で「おおさか『街』あるき」が実施され、本市職員が講師となり、中之島周辺および東横堀川・道頓堀川に架かる歴史ある橋を徒歩と船で巡るツアーを行いました。日差しの強い中での開催にもかかわらず、18名の参加がありました。



▲ 徒歩によるツアーの様子



▲ 船によるツアーの様子

5. パネル展の開催について

平成 24 年 8 月 7 日（火）～ 8 日（水）の 2 日間にわたり、大阪市立大学で開催されたオープンキャンパスの場を活用し、大阪の橋の歴史や型式などを紹介する「大阪の橋パネル展」を開催しました。当日は工学研究科の研究室内で橋の模型展示企画も行われており、来訪者からは好評を得ていました。



▲ パネル展の様子

橋コラム

◇ vol.4 太左衛門橋（たざえもんばし） ◇

太左衛門橋は、大阪のミナミの道頓堀川に架かる橋で、西側には戎橋があります。

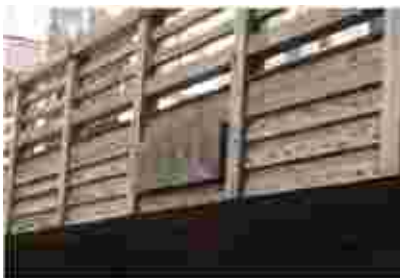
太左衛門橋の橋名は、橋の南詰東角で歌舞伎の小屋を開いた興行師「太坂太左衛門」に由来しているようです。この橋がいつ架けられたか明確ではありませんが明暦期（1655～1658）の町絵図にも描かれており芝居小屋への通路として早くから架けられていたようです。

太左衛門橋は昭和に入っても木橋のままでしたが、昭和 33 年に老朽化を理由に鋼橋に架け替えられました。

現在の橋は、道頓堀川の水辺整備に併せて、本橋の西側と東側に側道橋が整備されました。デザインについては、昔の木橋の雰囲気を取れ入れ、木を基調とした意匠となっています。また、橋面もアスファルトから御影石に舗装がかわり、宗右衛門町の石畳舗装と調和がとれた橋となりました。



▲ 側面



▲ 橋名板



▲ 御影石の舗装

【お知らせ】

水都大阪の特徴を生かした「水と光のまちづくりの推進」の取り組みの一つとして、堂島川に架かる中之島ガーデブリッジの橋上でオープンカフェが実施されます。

橋上でのオープンカフェの実施は大阪市では初めての試みで恒常的なにぎわいと魅力ある水辺空間の創出をめざした社会実験として実施するものです。

平成 24 年 10 月 13 日（土）～ 21 日（日）の 9 日間において行われます。

詳しくは、こちらの[ホームページ](#)をご覧ください。



▲ チラシ